

2019年度第1四半期決算

(2019/4~2019/6)

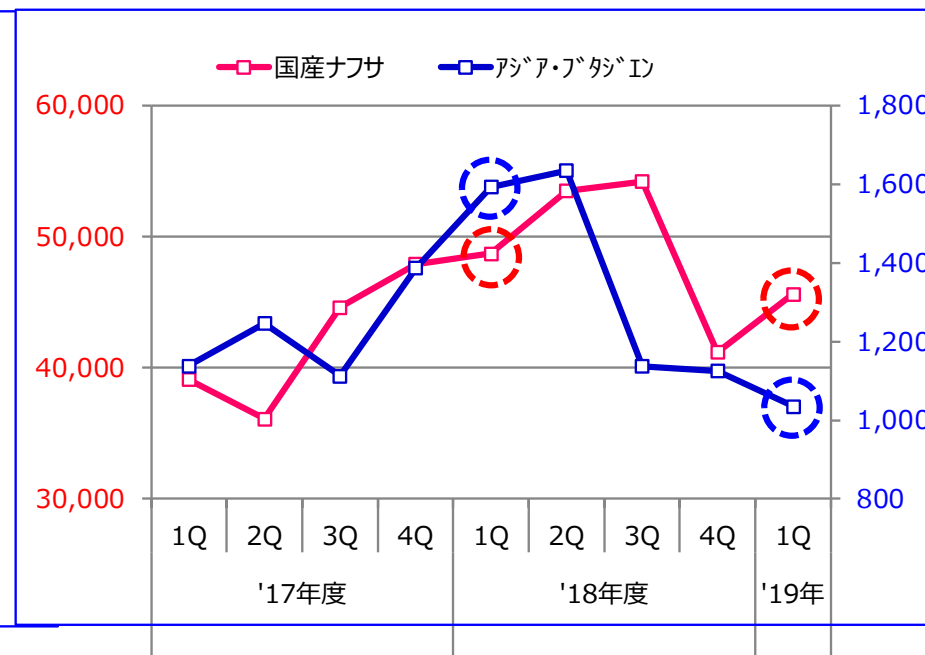
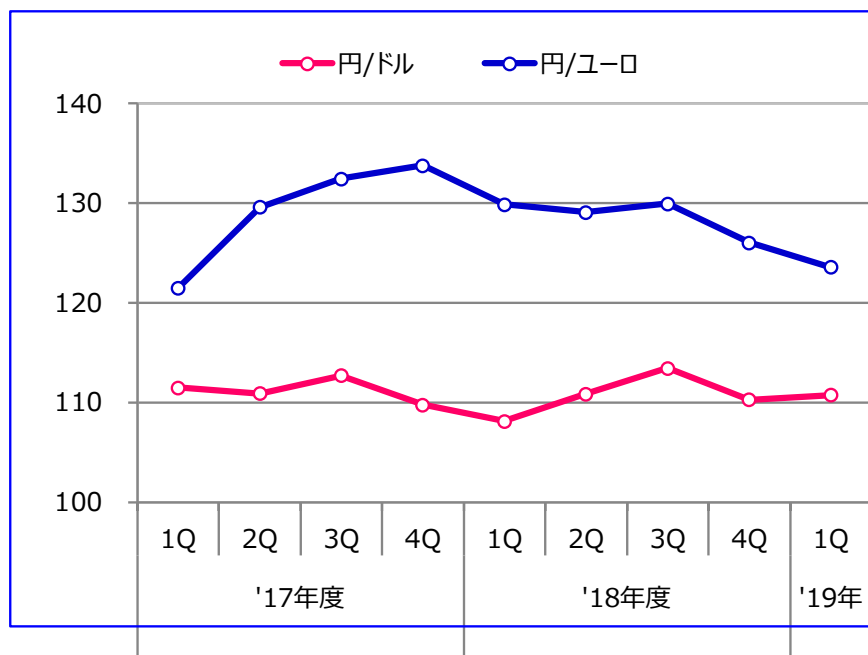
ZEON

日本ゼオン株式会社

2019年7月31日

- ◆事業環境
- ◆事業概況
- ◆全体損益
- ◆セグメント損益：エラストマー素材事業部門
- ◆セグメント損益：高機能材料事業部門
- ◆セグメント損益：その他の事業
- ◆貸借対照表
- ◆2019年度 業績予想

(通期平均)	2019 第1四半期	2018 第1四半期	増減	増減率
円/ドル	110.8	108.1	2.7	2 %
円/ユーロ	123.6	129.9	-6.3	-5 %
原油 (\$/bbl)	69	74	-5	-7 %
国産ナフサ (円/kl)	45,600	48,700	-3,100	-6 %
アジア・ブタジイン (\$/t)	1,035	1,593	-558	-35 %
イソレン (\$/t)	1,380	1,390	-10	-1 %
天然ゴム (\$/t)	1,514	1,399	115	8 %



エラストマー素材事業部門

- 合成ゴム事業： 国内販売・輸出・海外子会社ともに、米中貿易摩擦に端を発した世界経済減速の影響を受け低調でした。また主原料価格変動の影響を受け、営業利益も前年同期を下回りました。
- 合成ラテックス事業： 国内向け樹脂改質用ラテックスが堅調に推移し、売上高、営業利益ともほぼ前年同期並みの実績でした。
- 化成品事業： 主力工場である水島工場で定期検査を実施したため生産量見合いの出荷量となり、国内販売・輸出とも売上高は前年同期を下回りました。一方でコスト削減等により、営業利益は前年同期を上回りました。

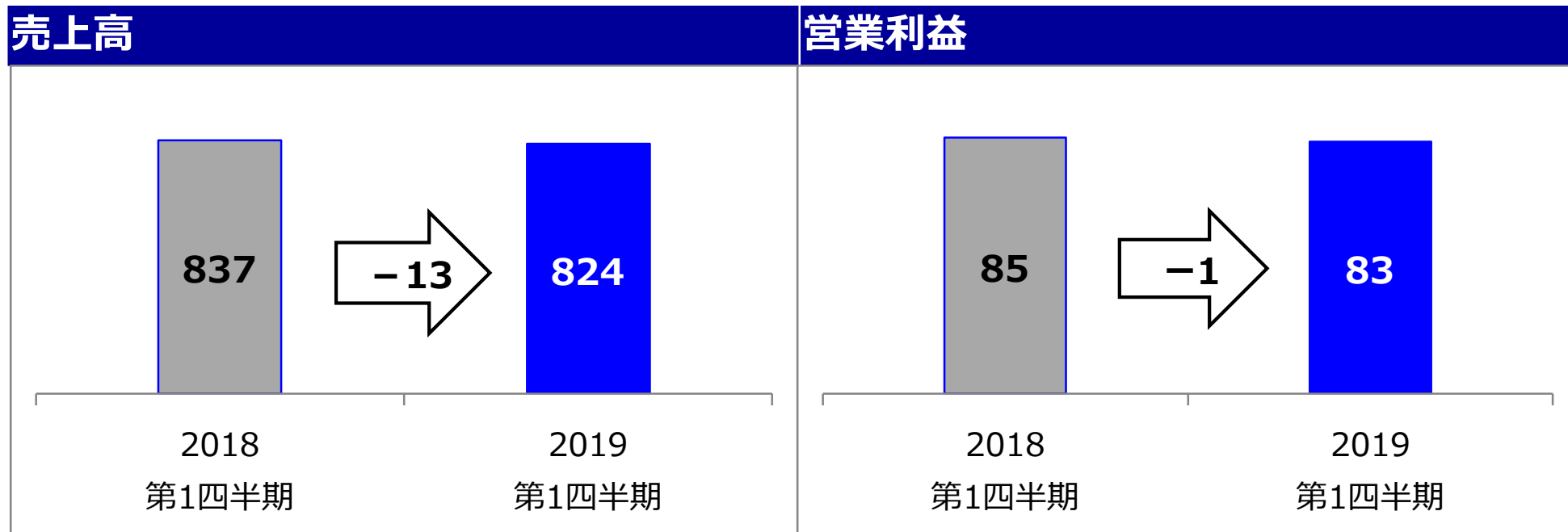
高機能材料事業部門

- 高機能樹脂事業： 光学樹脂、光学フィルムともに販売が堅調に推移した結果、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。
- 高機能ケミカル事業： 化学品の主力工場である水島工場は、化成品事業と同様、定期検査を実施したため、生産量見合いの出荷量となり、国内販売・輸出とも低調でした。一方で電子材料、トナーおよび電池材料の販売が堅調に推移した結果、高機能ケミカル事業全体では、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

	2019 第1四半期	2018 第1四半期	増減	増減率
売上高	824	837	-13	-1 %
営業利益	83	85	-1	-2 %
営業外収支	3	12	-9	-72 %
経常利益	87	97	-10	-10 %
特別収支	-1	-2	1	- %
税前利益	85	95	-9	-10 %
当期純利益	61	67	-6	-9 %

対前年同期比

売上高： 13億円減収 営業利益： 1億円減益



<売上高>

エラストマー素材事業部門	-38
高機能材料事業部門	+27
その他・消去	- 1

<営業利益>

エラストマー素材事業部門	- 16
高機能材料事業部門	+ 17
その他	- 2

エラストマー素材事業部門は減収・減益、高機能材料事業部門は増収、増益

	2019 第1四半期	2018 第1四半期	増減	増減率
販売数量 (千トン)	147	159	-12	-8 %
合成ゴム事業	85	91	-6	-6 %
合成ラテックス事業	30	31	-1	-4 %
化成品事業	32	37	-5	-14 %
売上高	471	509	-38	-8 %
合成ゴム事業	328	363	-36	-10 %
合成ラテックス事業	45	44	0	1 %
化成品事業	92	98	-6	-6 %
その他・消去	7	4	3	78 %
営業利益	35	51	-16	-32 %
営業利益率	7.4%	10.1%	-2.6 pt	

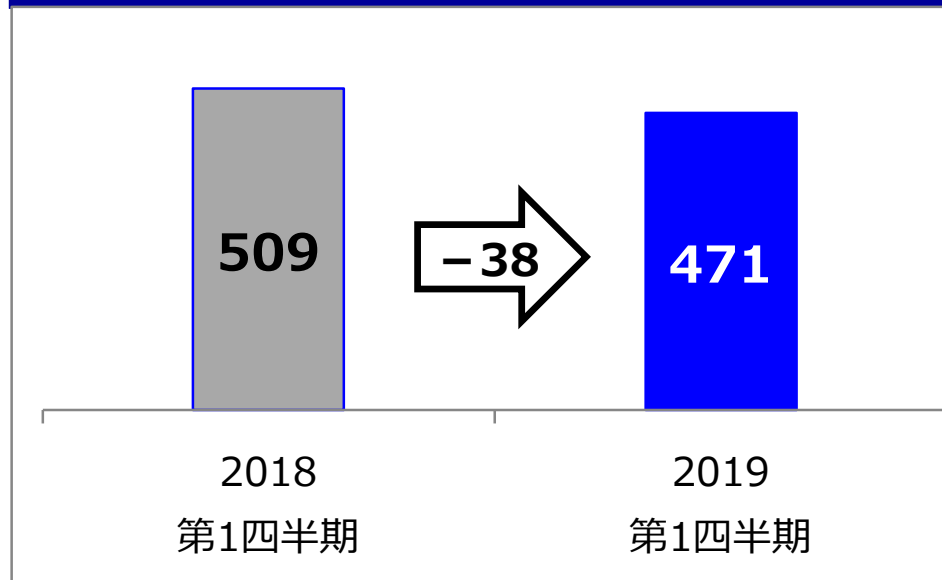
◆**合成ゴム事業** : 減収・減益

自動車産業、一般工業用途向け出荷が低調で10%の減収。

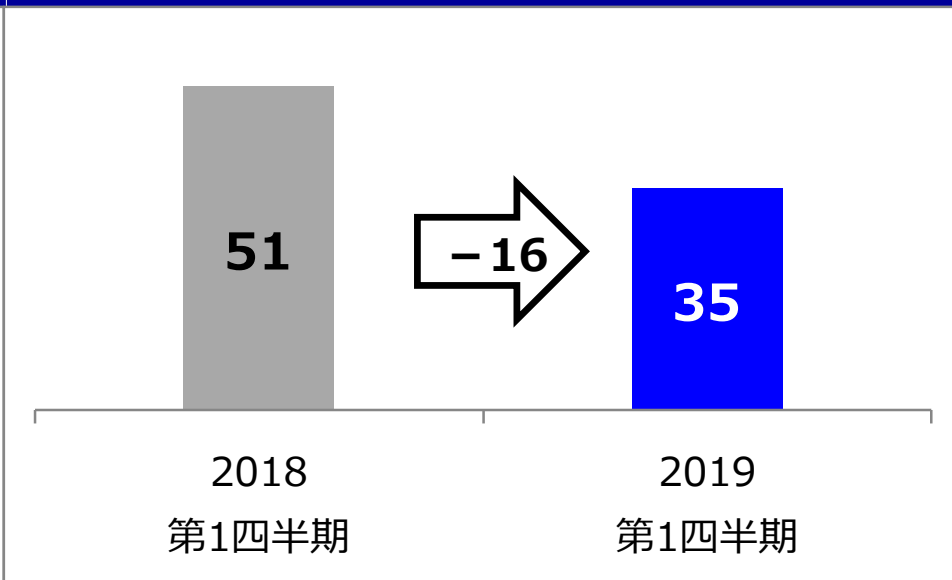
◆**化成品事業** : 減収・増益

生産量見合いの出荷量となり6%の減収だが、コストダウン等が寄与し増益。

売上高



営業利益



<売上高差異 事業別>

合成ゴム事業	-36	: 国内・輸出・海外子会社ともに低調
合成ラテックス事業	+0	
化成品	-6	: 定期検査による出荷調整
その他・消去	+3	

<営業利益差異 要因別>

数量差	-9	: 合成ゴム、化成品の販売数量減
価格差	-9	: 主に原料フォーミュラによる価格低下
為替差	+1	: 108.1円/\$ → 110.8円/\$
原価差	-2	: 前年度後半の高い在庫の影響
販管費差	+3	: 数量減に伴う運賃、保管料減

	2019 第1四半期	2018 第1四半期	増減	増減率
売上高	223	195	27	14 %
高機能樹脂事業	142	116	26	23 %
高機能ケミカル事業	67	66	1	1 %
メディカル他	14	14	1	4 %
営業利益	51	34	17	49 %
営業利益率	22.7%	17.4%	5.3 pt	

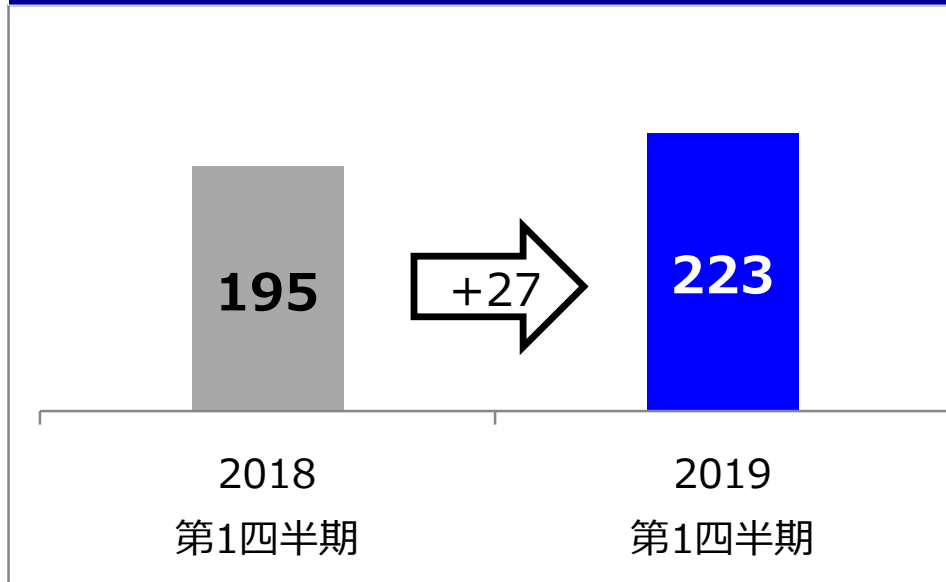
◆高機能樹脂事業 : 増収・増益

- 光学樹脂関連、光学フィルムは販売が堅調に推移し26億円の増収。
うち、光学フィルム関連は約30%の増収。

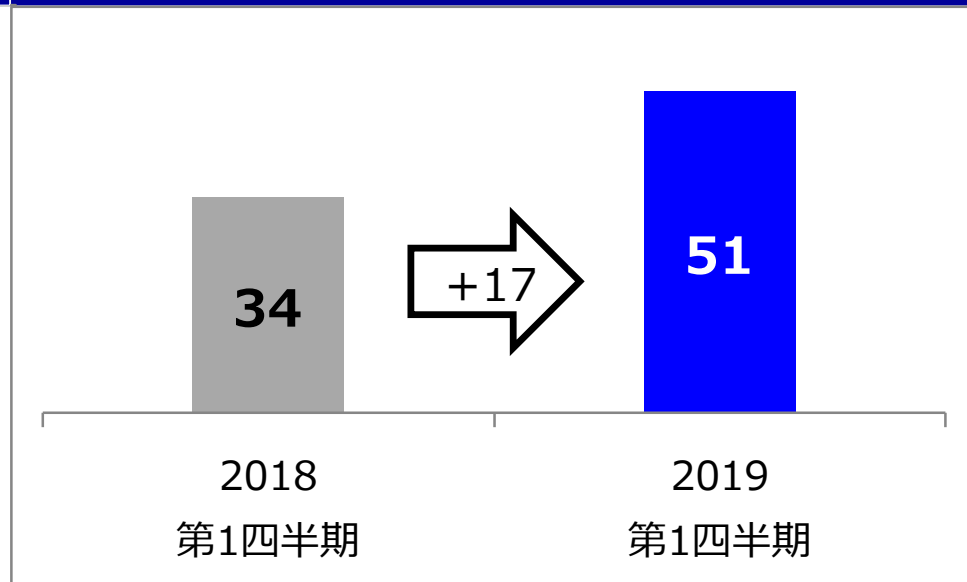
◆高機能ケミカル事業 : 増収・増益

- 化学品は主力の水島工場が定期検査を実施、生産量見合いの出荷となったため減収となったが、電子材料、トナー、電池材料は堅調に推移。
- 電池材料は二桁の伸びとなり、高機能ケミカル事業全体では1%の増収。

売上高



営業利益



<売上高差異 事業別>

高機能樹脂事業	+26	: 光学樹脂関連、光学フィルム堅調
高機能ケミカル事業	+1	: 電子材料、トナー、電池材料堅調
メディカル他	+1	

<営業利益 要因別>

数量差	+15	: 光学フィルム、電池材料販売数量増
価格差	-5	: 光学フィルム市場価格軟化
為替差	+1	: 108.1円/\$ → 110.8円/\$
原価差	+10	: 光学フィルム 生産増
販管費差	-4	: 光学フィルム数量増による運賃増

	2019 第1四半期	2018 第1四半期	増減	増減率
売上高	136	138	-3	-2 %
営業利益	4	6	-3	-39 %
営業利益率	2.9%	4.6%	-1.8 pt	

◆その他 : 減収・減益

商社部門の販売およびRIM事業が低調。

資産				負債・純資産			
	19/6末	19/3末	増減		19/6末	19/3末	増減
流動資産	2,147	2,272	-125	流動負債	1,148	1,300	-152
現預金	373	375	-2	買入債務	707	824	-117
売掛債権	758	784	-25	短期有利子負債	121	121	0
未収入金	255	357	-102	その他	320	355	-35
棚卸資産	685	711	-26	固定負債	365	357	7
その他	76	46	30	長期有利子負債	120	120	0
固定資産	1,978	1,977	1	その他	245	237	7
有形固定資産	1,054	1,023	31	純資産	2,613	2,592	21
無形固定資産	31	32	-1	自己資本	2,582	2,562	20
投資有価証券	783	811	-28	その他	31	30	1
その他	110	111	-1	負債・純資産合計	4,126	4,249	-124
資産合計	4,126	4,249	-124				
資本的支出	55			有利子負債	241	241	0
減価償却費	-40			自己資本比率 (%)	62.6	60.3	2.3
その他影響	15			D/Eレシオ	0.09	0.09	0.00
固定資産増減	30						

◆キャッシュ・フロー

	19Q1	18Q1
営業活動によるキャッシュ・フロー	63	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	-50	-38
フリー・キャッシュ・フロー	13	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	-20	-127
キャッシュ・フロー	-7	-125

	2019	2018	増減	増減率
売上高	3,300	3,375	-75	-2 %
イラストマー素材	1,900	1,981	-81	-4 %
高機能材料	860	851	9	1 %
その他	565	567	-2	-0 %
消去	-25	-25	-0	
営業利益	300	331	-31	-9 %
営業利益率	9.1%	9.8%	-0.7 pt	
イラストマー素材	144	177	-33	-19 %
高機能材料	170	161	9	5 %
その他	-14	-7	-7	- %
営業外収支	20	32	-12	-37 %
経常利益	320	363	-43	-12 %
当期純利益	220	185	35	19 %
円/ドル	105.0	110.7	-5.7	-5 %
円/ユーロ	120.0	128.7	-8.7	-7 %
国産ナフサ	39,000	49,500	-10,500	-21 %
アジア・ブラジルの	1,250	1,372	-122	-9 %

(円/kl)
(ドル/t)

4月26日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

本資料に掲載されている当社の計画、見直しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる場合があります。

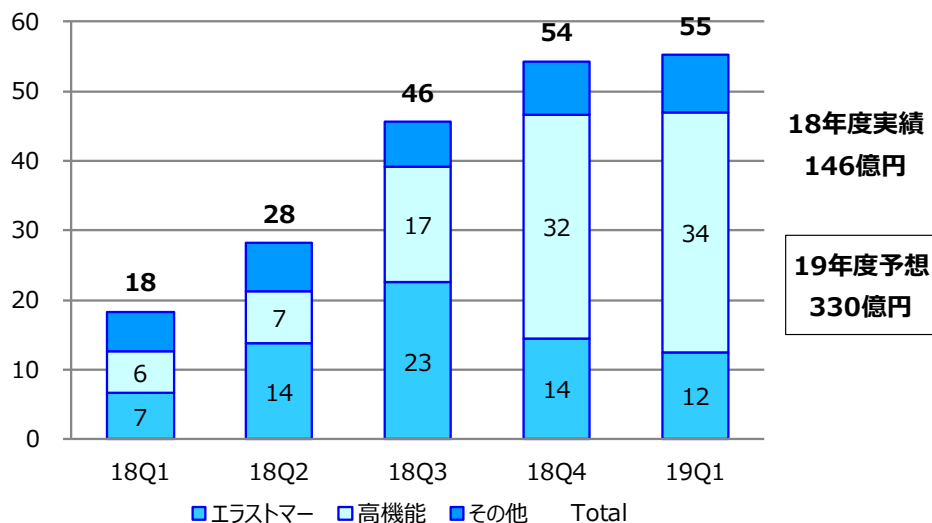
2019年度 第2四半期	2019年10月31日（木） 発表予定
-----------------	---------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

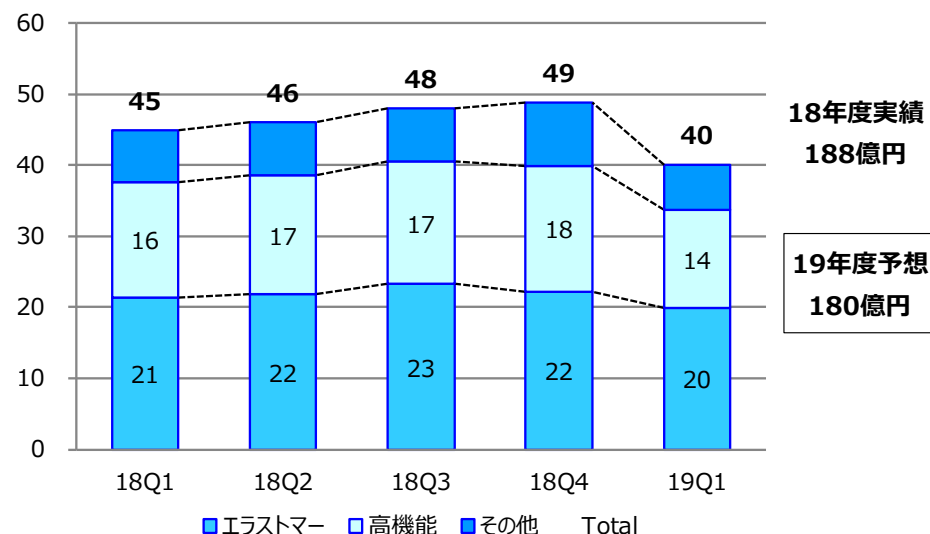
参考資料: 四半期損益推移 億円

	2018				2019	前Q4→Q1	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	増減	増減率
販売数量 (千トン)	159	149	145	164	147	-17	-10%
ゴム	91	84	80	99	85	-14	-14%
ラテックス	31	29	30	32	30	-2	-6%
化成品	37	35	34	32	32	-1	-2%
売上高	837	854	855	829	824	-5	-1%
エラストマー素材	509	493	490	489	471	-18	-4%
ゴム	363	340	339	345	328	-17	-5%
ラテックス	44	51	48	45	45	-0	-1%
化成品	98	96	95	94	92	-2	-2%
その他・消去	4	6	7	5	7	2	39%
高機能材料	195	229	223	205	223	18	9%
高機能ケミカル	66	68	70	72	67	-5	-7%
高機能樹脂	116	148	138	117	142	25	21%
メディカル他	14	12	15	16	14	-2	-10%
その他・消去	132	132	143	136	131	-5	-4%
営業利益	85	95	90	61	83	22	36%
営業利益率	10%	11%	11%	7%	10%	3 pt	
エラストマー素材	51	44	49	33	35	2	6%
高機能材料	34	53	42	32	51	19	60%
その他	-1	-2	-0	-3	-2	1	-

資本的支出 推移 (単位：億円)



減価償却費 推移(単位：億円)



研究開発費 推移(単位：億円)

